

第4回 国立天文台周辺地域土地利用整備計画 検討委員会 — 説明資料 —

令和7年11月6日



1 本日の流れ（合計75分）

I. 全体説明(約15分)



「前回の振り返り」「グループワークの進め方」等について説明します

II. グループワーク(約45分)



グループに分かれて、個人の考えを整理しながら、グループで意見やアイデアを出し合います

III. 全体発表(約15分)



グループワークの成果を各班発表します
また、全体のまとめを行い、委員長のコメントを
いただきます

3回のワークショップを通じて、みんなの持つおおさわコモンズのイメージを配置案(ゾーニング)へ落とし込んでいきます。

地域の共有地「おおさわコモンズ」の在り方、使い方

～地域の人が集まり、利用しやすい共有地にするために～

WS 1

みんなが集う

地域の共有地
「コモンズ」

ってどんなところ？

WS 2

地域の共有地となる

地域交流スペース
や機能

ってどんなのだろう

WS 3

本日

WS1・WS2の意見
を踏まえた
配置案へのご意見
(ゾーニング)

主
機
能エ
リ
ア
方
針全
体
イ
メ
ジ

①天文台の「森の学校」

②みんなが集う地域の共有地

③天文台の森(北側)の次世代への継承

④命と暮らしを守る防災拠点

第七中エリア

- ・既存の校舎等を活用するエリアです。
- ・施設づくりエリアと一体となつた教育環境を整備します。

一
体
的
利
用施設づくりエリア

- ・「おおさわコモンズ」の施設をつくるエリアです。
- ・健全な大径木を可能な限り保全します。
- ・周囲に植樹し、自然と調和した施設配置を行います。
- ・七中エリアと一体となつた教育環境を整備します。

一
体
的
利
用緑地保全エリア

- ・まとまった緑を保全するエリアです。
- ・森の中を通る通路を整備します。
- ・国立天文台と管理方法等を協議します。

おおさわコモンズ

※緑地保全エリアの保全方策は、国立天文台との協議中です。

第七中エリアグラウ
ンド

大沢2

施設づくりエリア

新築建物

緑地保全エリア里山
ゾーン現状維持
ゾーン散策・観察ゾーン
コモンズ
駐車場現状維持
ゾーン天文台
通り
天文台
駐車場

市道(拡幅想定)

ゲート(施設開設時
間内解放)物理的デバイス(災
害時のみ解放)主な通学動線(敷
地内通路等)駐車場アクセス動
線(敷地内通路)

保存検討大径木



0 20 50 100M

4

みんなが集う地域の共有地「コモンズ」を目指したいイメージとして、大きく以下の8つの考え方を出していただきました。

目指したい
イメージ1

地域のみんなで交流できる場を持ち、多世代が多様に関われる

目指したい
イメージ2

多様な子どもの居場所とし、安全で安心してのびのび過ごせる

目指したい
イメージ3

豊かな自然を手入れし、春夏秋冬を感じられる体験の場へ育てる

目指したい
イメージ4

開発段階から住民が参加し、場を使うことで、地元愛を育む

目指したい
イメージ5

日常的な防災拠点で地域がつながり、災害時にも対応できる

目指したい
イメージ6

医療福祉、行政サービス、相談窓口等で高齢者も子育ても安心できる

目指したい
イメージ7

天文台を活かした異文化交流・国際交流ができる

目指したい
イメージ8

屋内外のイベントやスポーツ等多様な地域利用が柔軟にできる

『※』は複数個所で重複したアイデア

	地域交流スペースや機能に関するアイデア	全体共通・留意点等
	<p>屋内</p> <p>図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝ころべる、話せる、遊べる図書館 (グループワーク可能なスペースを含む) ・子どもが学習できるよう学校図書館と地域図書館を連結 ・生涯学習スペース/成果を発表できる場※1 ・自主学習スペース※2 ・創作物を販売するレンタルスペース/本棚シェア ・高齢者と若者が使うスペースを合わせる ・勉強や飲食等長時間滞在できるカフェスペース※3 ・朝食を購入することができるところ※3 ・保護者もいられる未就学児スペース（遊び、お話し会等） ・児童館的な施設 ・ミニシアタープロジェクター・映画鑑賞 ・市役所の相談窓口/子育て・介護の相談所 ・配信スタジオ/みんなの掲示板 <p>生涯学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で利用できる貸しスタジオ的な音楽室 ・DIYワークショップができる図工室 ・料理教室ができる家庭科室&調理室、子ども食堂 ・昼食が食べられるランチルーム ・地域の特色を学べる地域交流室 ・雨天時でも遊べるピロティ <p>未就学児</p> <p>映画</p> <p>相談</p> <p>情報</p> <p>飲食</p> <p>特別教室</p> <p>音楽</p> <p>図工</p> <p>家庭</p> <p>ランチ</p> <p>交流</p> <p>遊び</p> <p>生涯学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的防音室 ・生涯学習スペース/ 成果を発表できる場※1 ・児童・生徒の作品常設展 示スペース ・自主学習スペース※2 <p>グラウンド</p> <p>広場</p> <p>花壇</p> <p>駐車場</p> <p>店舗</p> <p>催事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボール遊びが可能なグ ラウンド（地域解放） ・芝生グラウンド ・みんなの原っぱ広場 (多機能で利用) ・健康増進運動スペース ・学校と地域が一緒に作 る花壇 <ul style="list-style-type: none"> ・多機能駐車場 ・違法駐輪、盗難対策と しての駐輪場の設置 	<p>屋外</p> <p>図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外での読書スペース <p>生涯学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外も含め全体で創作 物展示 ・イベントができる屋外 ステージ※4 <p>未就学児</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就学児も遊べる屋外 空間 <p>■教室配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別教室は1階、利用者は屋外からア クセス。普通教室は上階。 ・第七中と新校舎をつなぐ ・職員室は小中全職員が集まる <p>■グラウンド・広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドは朝・夜、休みに開放 ・自由広場にすると夜間の出入りはどう するのか <p>■セキュリティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学校エリアと外部利用者が入 る交流エリアは分離。 ・地域開放は学校が使用していない時間 で子どもと分離。 ・登録利用者をメインに。 ・学校側の負担を減らすためにも、常駐 の管理者が必要。情報共有の観点で職 員室と近くに配置。 ・ITを活用したセキュリティの導入 ・エリア内外をフェンス等で仕切る ・エリア内全体で聞こえる放送ができる ・セキュリティゲートの設置 ・SOS通報ボタン <p>■交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅エリアを通る駐車場アクセスはな し（自転車はOK） ・雨天時の車いす対応として施設に近い ところに駐車場を配置 ・天文台駐車場と兼用などで、駐車場を 小さくしたい ・通学動線では、歩行者・自転車を分離 ・車のゲートを最小限に。
施設づくりエリア		
滞在型図書館 + α		
他施設		
駐車場		

5 第3回検討委員会の振り返り（全班統合）

地域交流スペースや機能に関するアイデア		全体共通・留意点等
緑地保全エリア ゾーン・ゾーン観	里山	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと地域の人々がつくる里山 子どもとつくる里山ツリーhausで読書、木登り シェア畑、シェアガーデン 野菜作り体験、農業体験 農業体験の一環としてそば作り、うどん作り 畑の管理には地域のボランティアさんに入ってもらう 学校農園。常に管理できないため、市民農園も併設することで、管理も少ししてもらう 機能を限定しないスペース（地域で利用を進め、これから決める） 発表できる屋外ステージ※4 地域防災訓練を授業として行えるスペース（防災トイレ・かまどベンチなど）、防災キャンプ
	畑・農園	<ul style="list-style-type: none"> 焚火スペース 誰でも利用できるモノづくり・DIY（工作・工具）のスペース
	広場	<ul style="list-style-type: none"> ベンチ ランニングコース、散歩コース 子どもの居場所やイベントなどに使える空地をつくりたい
	防災	<ul style="list-style-type: none"> 星が見えるサウナ
	DIY	
	ベンチ	
	散歩	
	広場	
	サウナ	
	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> 生物の観察など学習の場・フィールドワーク カメラの貸出 タケノコとっていいよスペース 自然体験
第七中エリア	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 第七中にスポーツ機能を集中 全天候型の屋内プールで、昇降式にすることで小中学生にも対応
	自習	<ul style="list-style-type: none"> 自習スペース、中高生の自習場所（未来室）
	バス	<ul style="list-style-type: none"> 第七中近くにもシティバスのバス停を設置
その他		<ul style="list-style-type: none"> 大人の娯楽スペースは他でつくるべき 生涯学習・多世代交流・居場所づくりはコモンズ外で ペットの入れるエリアを決めておく 食堂・売店については、コスモス会館の利用も考えられる。（天文台HPにて確認したところ、食堂・売店は8/8にて閉店済み。） 星と森と絵本の家との連携 大沢コミセンも水害時も含めた避難所に

グループワークショップ — 本日のテーマ —

配置案（ゾーニング）への 意見交換

6 第3回検討委員会の意見を踏まえた、今後の検討の方向性（案）

前回の意見は、以下の通り今後の検討の方向性（案）としてとりまとめ、検討を行います。

エリア・ゾーン			第3回検討委員会の意見を踏まえた、今後の検討の方向性（案）
施設づくりエリア（第七中エリアと一体的に検討）	普通教室	普通教室（1～9学年）、教育支援学級（1～9学年）、少人数学級、多目的教室	普通教室数は、児童・生徒数の変動にも対応できるよう検討する。また、一体的なオープンスペース等も検討する。一体的な学校づくりのために、渡り廊下など 七中と新校舎との接続 も検討する。
	特別教室（準備室含む）	理科室、音楽室、図工室、家庭科室、技術科室、美術室	授業で使っていない時間に、地域活動や中高生の学習スペースなど多様な地域利用 がしやすいよう、 特別教室は1階配置を原則 に、児童生徒と交わらないようICT技術等で空間を分離する。また、特別教室や体育館等を地域開放する場合は、原則 登録者のみに限定 とともに、 管理人の配置も含め 、セキュリティ対策を検討する。
	管理諸室	職員室、校長室、保健室、教育相談室、更衣室等	職員室は全職員が集まる ようにしつつ、地域開放を担う 管理人との連携 を図りやすい位置への配置を検討する。
	体育館・プール・学校図書館	体育館、プール、学校図書館	新しい学校施設の整備を核に、 七中の既存施設の改修・活用 も含め一体的に検討する。また、 学校図書館と地域図書館の連携 を前提とした整備を検討する。なお、 体育館・プールは地域開放 を検討する。
	図書館等	地域図書館・その他	『 滞在交流型の図書館 』を中心に、カフェや談話スペース、学習スペース、未就学児スペース、作品展示スペース、シェアスポット、掲示板など 多世代の地域交流スペースの併設 を検討する。地域図書館等の一般利用者が児童生徒と施設内で交わらないよう、 学校ゾーンとの空間分離 を検討とともに、屋外もフェンスや植栽で仕切るなど、校内に 一般利用者が入りにくい設え を工夫する。
	グラウンド・広場		グラウンドとして必要な面積・機能及び保存すべき樹木の維持を前提に、グラウンドや広場では学校行事や地域の催事、地域開放時に使用できる 屋外ステージ を検討する。
	コモンズ駐車場		必要最低限の駐車場 とし、日常的な 駐車場の出入り口を天文台通りに限定 できるか検討する。
緑地保全エリア	里山ゾーン		子どもとともに里山をつくり 、学校と地域で育てる 学校農園 も検討する。また、多様な地域利用が可能な 広場も確保 しながら、 防災やモノづくり 等に日常から触れられる場づくりを検討する。
	散策・観察ゾーン		見通しのきく明るい地域の散歩コース として整備を行い、 読書スペースやベンチ、屋外作品展示、地域で利用できる小さなスペース （例えば、フリースペース・チャレンジショップ・地域運営の売店・カフェ）などの配置を検討とともに、沿道にて 生物や植栽等を観察 できるよう、検討する。地域開放内の遅い時間でも安全に歩けるよう、 夜間照明の設置 に加え、 夜間時の防犯対策 を検討する。
	現状維持ゾーン		※現在の自然環境を保つ区域として、一般の立ち入りは想定しないゾーンであるため、検討しない。

6 第3回検討委員会の意見を踏まえた、今後の検討の方向性（案）

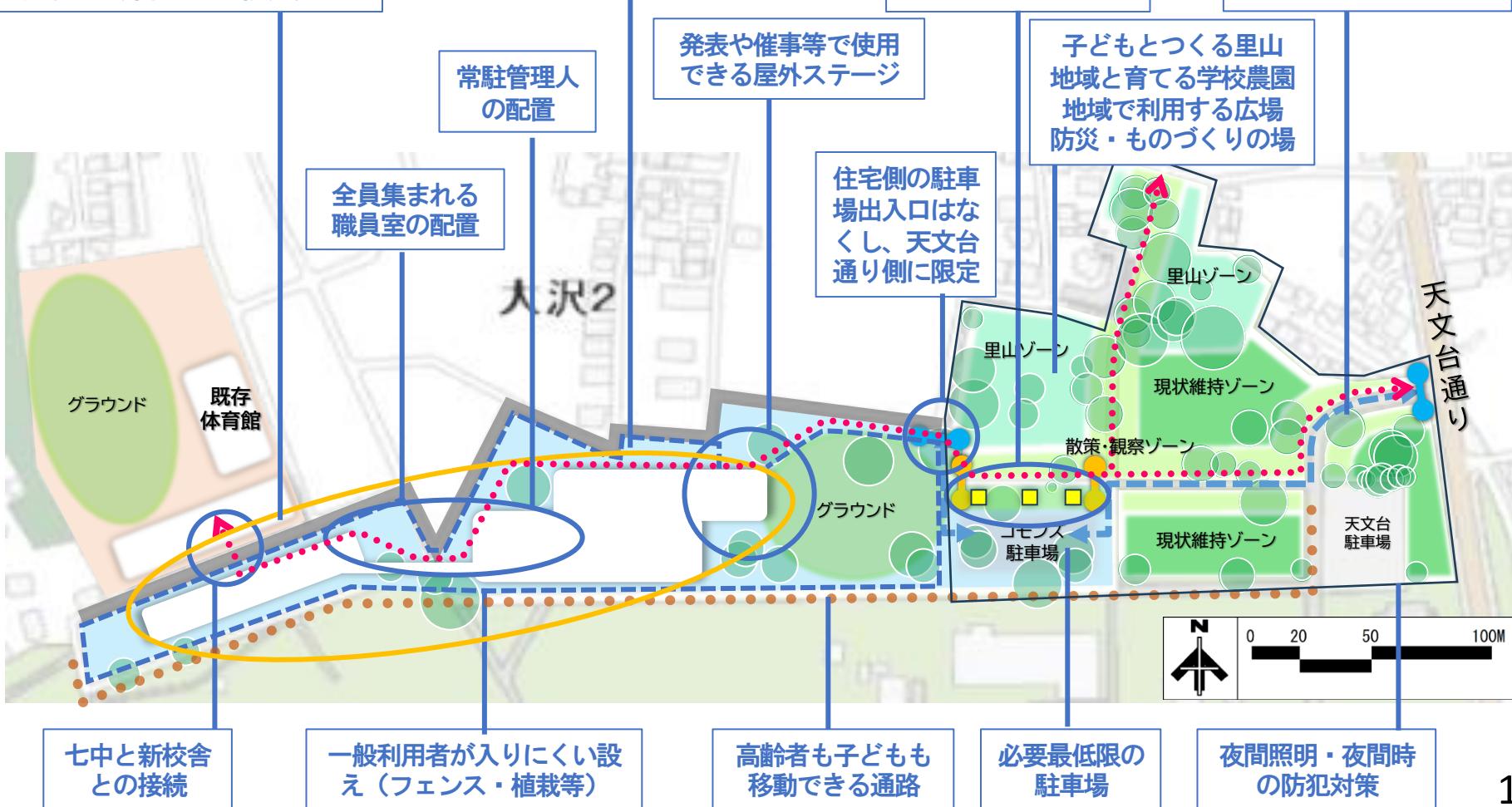
■今後の検討マップ

特別教室は滞授業で使っていない時間の中高生の学習スペースや多様な地域利用できるよう、1階に配置し、ICT技術等で空間を分離。利用者は登録者のみに限定。

滞在交流型の図書館を中心に、多世代の地域交流スペース（カフェ・自習・未就学児・作品展示等）を併設し、学校ゾーンとは空間分離

地域で利用できる小さなスペース（売店・カフェ・チャレンジショップ・フリースペース）

生物や植物などを観察できる散歩コースとして、見通しよく明るく整備し、読書スペースやベンチなどを配置



主要な機能配置と動線について、前回WSにて多様な意見が出された通り、普通教室エリア、地域図書館+ α 、特別教室+ α の配置により、地域の共有地のあり方も変わります。地域図書館の位置をパターンに、各案の良いところや課題・懸念点などを考えてみましょう。今回いただいた意見は、今後進める配置計画検討での参考とさせていただきます。

イメージA

地域図書館東側配置



イメージB

地域図書館中央配置



イメージC

地域図書館西側配置



7 ゾーニングパターン検討

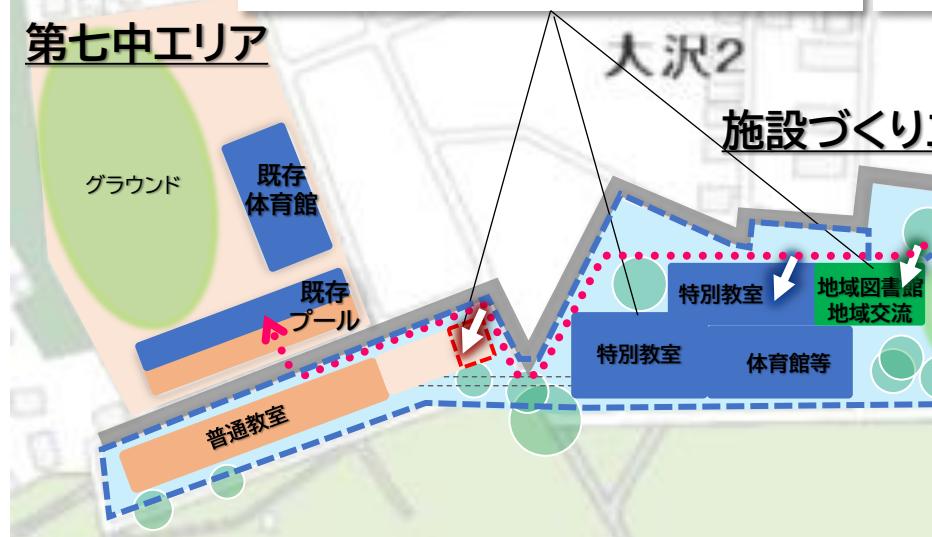
※当該配置案は建築基準法および関係法令等の確認が未実施のため、意見交換用のイメージであり、今後の検討において変更の可能性があります。

イメージA 地域図書館東側配置

1階配置図

- 地域図書館を東側に配置し施設の顔とし、地域に開かれた特別教室を1階に、西側の普通教室エリアとつなぐ
- 天文台通り側からみると、一般利用者→登録利用者→児童・生徒でエントランスが配置

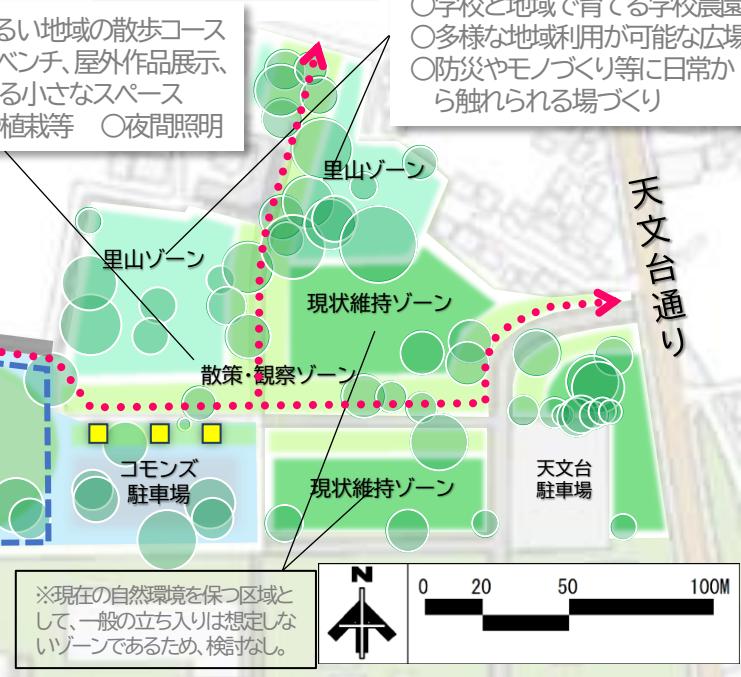
第七中エリア



緑地保全エリア

- 見通しのきく明るい地域の散歩コース
- 読書スペースやベンチ、屋外作品展示、地域で利用できる小さなスペース
- 沿道にて生物や植栽等
- 夜間照明

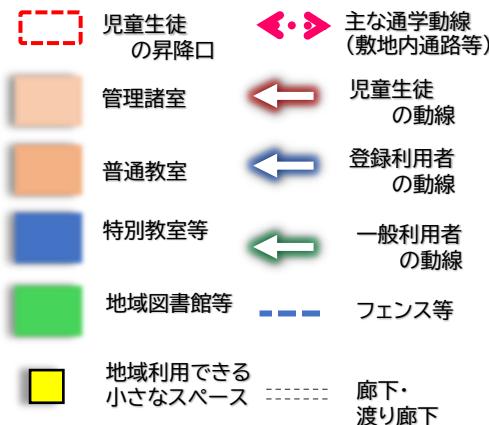
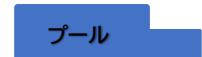
- 子どもとともにつくる里山
- 学校と地域で育てる学校農園
- 多様な地域利用が可能な広場
- 防災やモノづくり等に日常から触れられる場づくり



2階配置図



3階配置図



イメージB

地域図書館中央配置

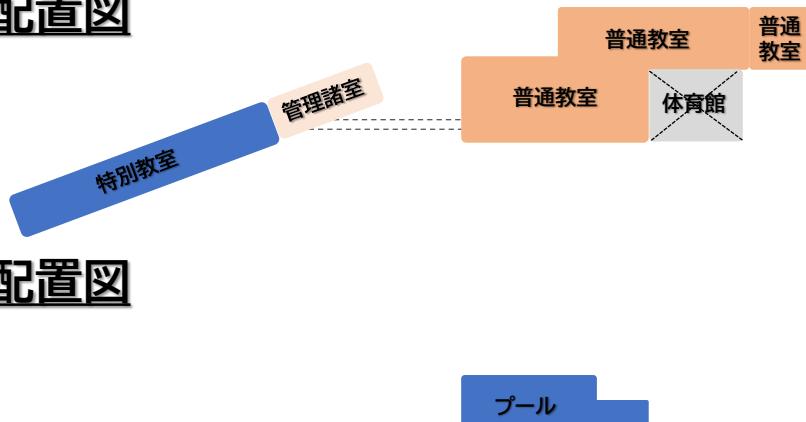
1階配置図

- 地域図書館を中央部分の1階にまとめて配置し、同じく1階に特別教室を西側に配置。普通教室は2階レベルでまとめて配置
 - 天文台通り側からみると、児童・生徒→一般利用者→登録利用者でエントランスが配置

第七中エリア



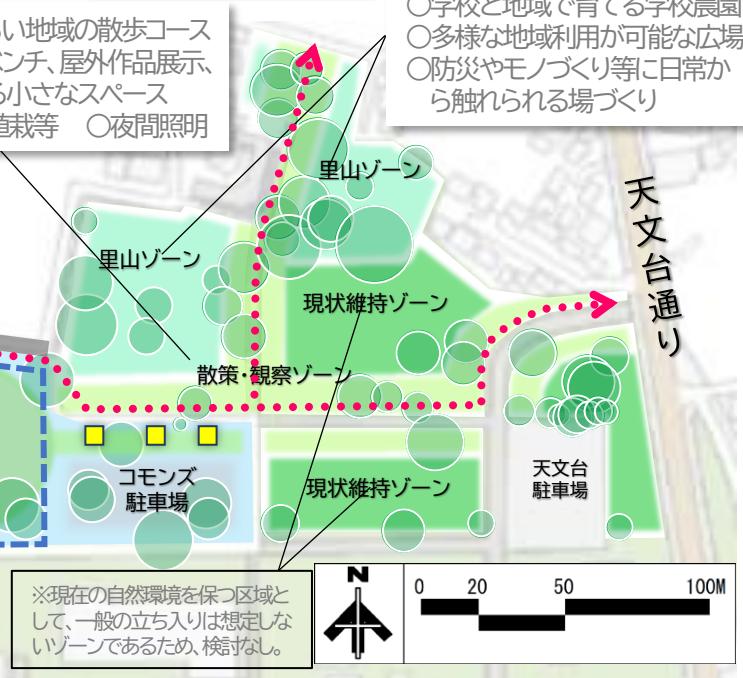
2階配置図



3階配置図



- 見通しのきく明るい地域の散歩コース
 - 読書スペースやベンチ、屋外作品展示、地域で利用できる小さなスペース
 - 沿道にて生物や植物等
 - 夜間照明



- ※現在の自然環境を保つ区域として、一般的の立ち入りは想定しないゾーンであるため、検討なし



0 20 50 100M

- | | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
|  | 児童生徒
の昇降口 |  | 主な通学動線
(敷地内通路等) |
|  | 管理諸室 |  | 児童生徒
の動線 |
|  | 普通教室 |  | 登録利用者
の動線 |
|  | 特別教室等 |  | 一般利用者
の動線 |
|  | 地域図書館等 |  | フェンス等 |
|  | 地域利用できる
小さなスペース |  | 廊下・
渡り廊下 |

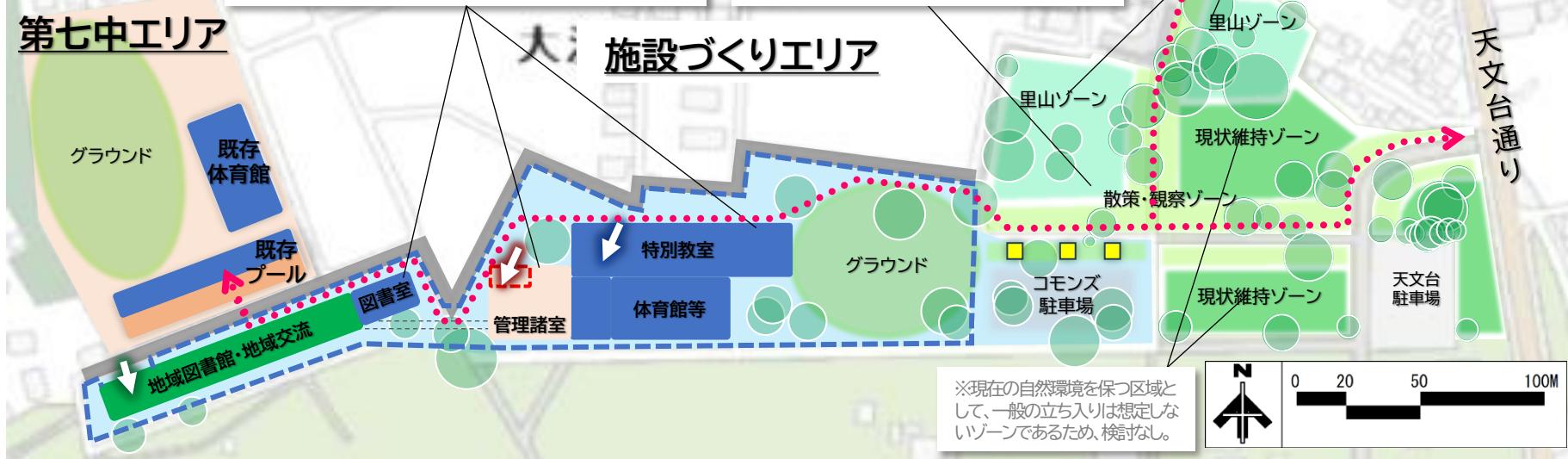
イメージC

地域図書館西側配置

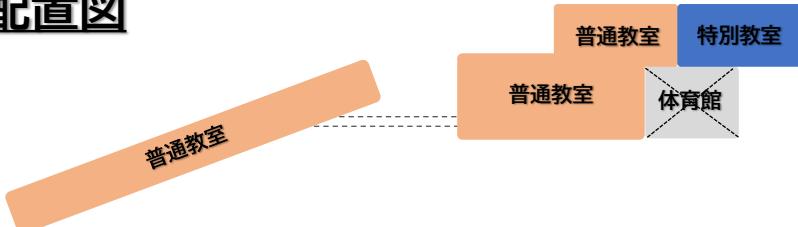
1階配置図

- 西側に地域図書館を配置し、特別教室を施設の顔として1階に配置し、普通教室を2階に配置
- 天文台通り側からみると、登録利用者→児童・生徒→一般利用者でエントランスが配置

第七中エリア



2階配置図



3階配置図



緑地保全エリア

- 見通しのきく明るい地域の散歩コース
- 読書スペースやベンチ、屋外作品展示、地域で利用できる小さなスペース
- 沿道にて生物や植栽等
- 夜間照明

- 子どもとともにつくる里山
- 学校と地域で育てる学校農園
- 多様な地域利用が可能な広場
- 防災やモノづくり等に日常から触れる場づくり



8 地域と児童動線におけるセキュリティラインの解決事例

事例1 安平町立早来学園（北海道）

ポイント



- ①児童生徒の玄関と図書館等の玄関を分けている
- ②エリアを専用エリア・共用エリア・開放エリアに分けて運用
- ③共用エリアへの動線は、児童は建物側から、地域利用は開放エリア側で分離
- ④また、入室には顔認証が必要

凡例

- 専用エリア
- 共用エリア
- 開放エリア



児童生徒玄関から図書室を望む



図書室からキッチンスタジオ



資料:第1回検討委員会より再掲

8 地域と児童動線におけるセキュリティラインの解決事例

事例2 和光市立下新倉小学校

ポイント



- 児童生徒の玄関と図書館等の玄関は隣同士に配置。
- 業務員前を通過し、各施設へアクセス。
- また、地域開放の特別教室の動線と児童の動線は鍵の施錠により、分離。
- 地域開放の特別教室の鍵受け渡しは、業務員にて対応。



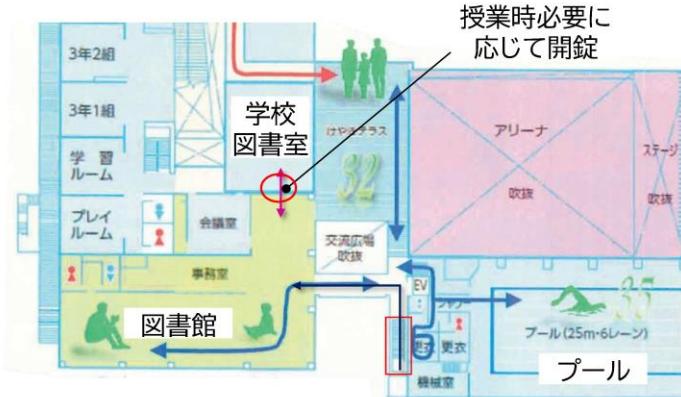
公共施設のエントランス



1F音楽室・家庭科室前のテラス



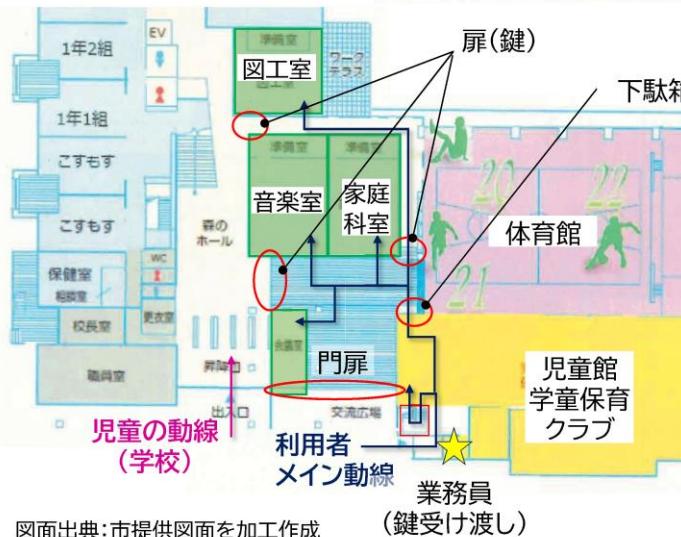
1F音楽室



2F図書館入口



2F図書館分館



学校図書室と図書館はガラスで隣接する

資料：
第1回検討委
員会より再掲

図面出典：市提供図面を加工作成

8 地域と児童動線におけるセキュリティラインの解決事例

事例3 志木市立志木小学校

ポイント



- 児童生徒の玄関と図書館等の玄関は立体的に分離。
- 図書館の玄関前には警備員が常駐&防犯カメラで監視。
- 館内は入館証が必要。
- 特別教室の地域開放は図書館側(遊学館)で対応し、ゾーンでまとまっている。



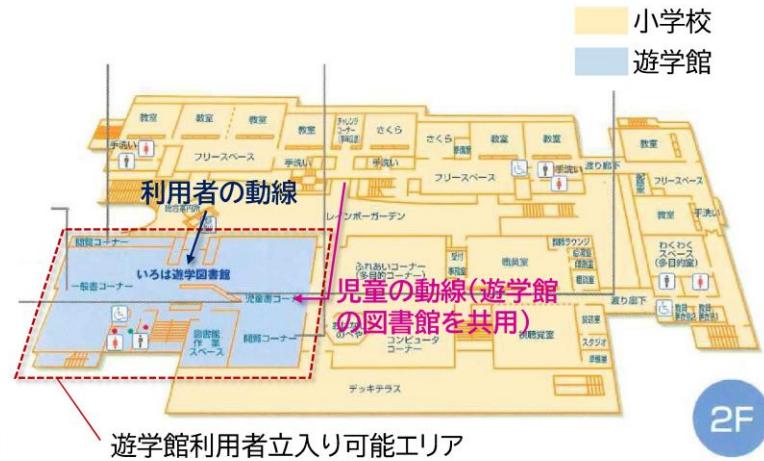
オープン教室・可動式ロッカー



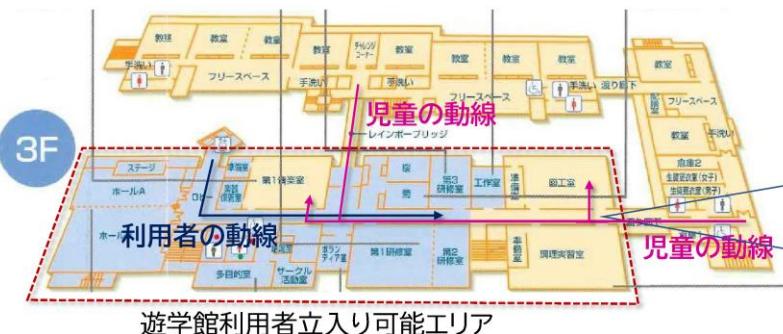
ブリッジ(先生が扉を開閉)



2階レインボーガーデン



遊学館利用者立入り可能エリア



遊学館利用者立入り可能エリア



ホールA・B(遊学館)



登録団体の荷物置きスペース



立看板

資料:
第1回検討委
員会より再掲

図面出典:いろは遊学館パンフレット掲載図面を加工作成

9 ワークシートの使い方

ワークシート3 配置案（ゾーニング）への意見交換

	イメージA：地域図書館東側配置	イメージB：地域図書館中央配置	イメージC：地域図書館西側配置
ゾーニングイメージ			
良いところ			
課題・懸念点等			
その他			

9 ワークシートの使い方

あくまで例示です。自由にご意見ください。

ワークシート3 配置案（ゾーニング）への意見交換

	イメージA：地域図書館東側配置	イメージB：地域図書館中央配置	イメージC：地域図書館西側配置
ゾーニングイメージ			
良いところ	<p>記入例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が楽しく、学校生活を送れそう ・地域図書館が誰もが利用しやすそう ・図書館と特別教室を一体的に活用した地域イベントができそう ・緑地保全エリアと一体的な利用がしやすく、日常的な利用がイメージできる ・災害時に防災拠点として機能しやすそう 		
課題・懸念点等	<p>記入例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと地域の動線が気になる ・管理人の配置に工夫が必要そう ・グラウンドまで遠いため、昼休みに遊べる校内広場が必要そう ・地域図書館が遠く、バスや車を利用して日常的にアクセスするには不便 		
その他			

グループワークの際に、 守っていただきたい『3つのルール』

【ルール1】 他の人の意見を聞くこと

【ルール2】 他の人の意見を否定しないこと

【ルール3】 1人で長く話しそぎないこと

グループワークをはじめます！
(その前に、各班の発表者を指名します)

グループワーク①

まずは、個人ワークを行います。
5~10分間で、それぞれが思う
キーワードを付箋にたくさん書いてみま
しょう！

グループワーク②

グループワークへ移行します。
一人3分程度で書いた付箋を説明し、
ワークシートへ貼り付けましょう！

グループワーク③

15分間のグループワークです。
他の人の意見を聞いて、
追加したい付箋があれば足しましょう。
また、班の発表に向け、
付箋をグループピングしてみましょう。

全体発表へ移行します！